

かどうぜきかいらんばん 可動堰回覧板

平成24年1月1日号 (No.78)
国土交通省北陸地方整備局
信濃川河川事務所大河津出張所
TEL 0256-97-2121
E-mail shinano@hrr.mlit.go.jp

回覧

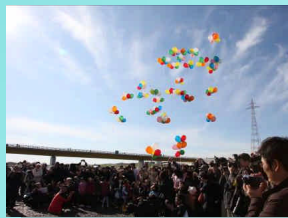
新年あけましておめでとうございます。今回は11月23日に開催した新可動堰通水式の様子をお知らせします。

新可動堰通水式を開催しました

平成23年11月23日。雲一つ無い秋晴れの下、大河津分水の流れを新可動堰へ切り替える、通水式を開催しました。式典には篠田新潟市長や地元鈴木燕市長等150名以上が出席しました。分水小学校の代表者による作文発表の後、泉田新潟県知事や地元選出の国会議員等によって通水ボタンが押されると、笈ヶ島保育園の園児が大空に風船を放ち、通水を知らせるサイレンが鳴り響くと共に調節ゲートが開き、新しい堰から水が流れ始めました。

会場周辺には約6000名もの方が来場されました。通水の瞬間には、開放された新可動堰管理橋や河川敷だけでなく、下流の大河津橋（国道116号）や右岸側の旧可動堰付近にも多くの方々が集い、大河津分水の新しい歴史の始まりを見守りました。また通水を記念して燕市分水太鼓の演奏や、分水小学校児童による稚鯉の放流が実施されました。

旧可動堰が完成してから80年。新可動堰への通水を経て、大河津分水はこれからも越後平野を水害から守り続けます。可動堰改築事業では平成25年度末の完成を目指し、今後は旧可動堰の撤去や右岸側の河川敷の整備等に取り組みます。



代表者が通水ボタンを押すと、風船が大空に舞う中サイレンの音と共に調節ゲートが開き、新可動堰から大河津分水へ水が流れ始めました。



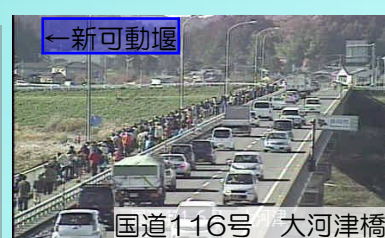
勇壮な分水太鼓の演奏



分水小学校児童による稚鯉放流



新可動堰管理橋



国道116号 大河津橋



平成23年11月23日撮影 (通水直後)

通水直後、左右2門ずつの調節ゲートから水が越流している様子です。通常時はこの調節ゲートで流量を調節しますが、洪水の際はより大きな主ゲートを持ち上げ、多くの水を大河津分水に流します。

通水の瞬間には新可動堰の管理橋や河川敷だけでなく、下流の大河津橋の歩道も、新可動堰の仕事始めを見守る人々で賑わいました。

新年のごあいさつ



新年あけましておめでとうございます。弊社は、旧可動堰上流側の護岸工事と、老朽化した旧可動堰の解体工事を担当しています。歴史ある旧可動堰の解体前には、イベントを予定しておりますので、その際は最後の雄姿を目に焼き付けて頂きたいと思っております。スタッフ一同、安全と品質を確保しながら、安全安心な暮らしを守れる工事を行います。本年も皆様のご指導を賜りますようお願い申し上げます。

(福田組 木村 憲二郎)



新年明けましておめでとうございます。あわせて新しい可動堰の完成おめでとうございます。私どもは、これから始まる右岸側の環境整備として仮設道路の舗装や運搬路の盛土、施工ヤードの盛土を行った後、2基の橋脚を築造するものです。地元の皆さんの協力を賜りながら、時期を同じくする施工業者さんと親しく情報を交換し、喜ばれる工事をして行きたいと考えていますので、ご指導をよろしくお願いいたします。

(吉田建設 渡辺 正登)



新年明けましておめでとうございます。弊社は、新可動堰の完成及び通水に伴い、右岸側から新可動堰への通路となる管理橋の下部工2基（P5、P6橋脚）を施工します。大河津可動堰改築の本体工事も終わり、今年は右岸側の整備が主となります。土砂運搬も予定されているので、交通安全管理には十分配慮し工事を進めていきます。地域の皆様方におかれましては、引き続きご理解とご協力の程よろしくお願いいたします。

(中越興業 池田 清)



新年あけましておめでとうございます。地元の皆様には、日頃より工事に関するご理解とご協力を賜り心より感謝申し上げます。私どもは、河川内に堆積した土砂をポンプ浚渫し、河道切替後の右岸側堤防本体を守るための高水敷の造成を行います。1月より左岸に工事用栈橋を設置し、浚渫船等の組立、掘削準備を経て、春から本格的に河川内の浚渫作業と高水敷の造成作業を開始する予定です。工事中は交通安全管理、周辺環境に十分配慮して工事を進めてまいりますので、引き続き皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

(大林組 松田 誠治)

謹んで新春のお慶びを申し上げます。日頃より治水事業に関しましてご協力を賜り厚く御礼申し上げます。昨年の新潟・福島豪雨では、水害から生命や財産を守るという大河津分水の重要な役割を果たしました。しかし、歴史を振り返ると、自然災害は同じような場所で繰り返されています。さらに近年の気候変動により水害リスクの増大も懸念されます。こうした水害に備えるためには、大河津分水の防災機能の維持・発展が不可欠です。大河津分水の工事や管理により、安全・安心の確保に努めてまいりますので、引き続きご協力を賜りますようお願い申し上げます。

(大河津出張所長 堀内 崇志)



新年明けましておめでとうございます。日頃より大河津可動堰改築事業にご理解、ご協力を頂きありがとうございます。

昨年11月23日に新可動堰の通水式が行われ、無事に旧可動堰との切替ができ、新年を迎えることができました。これも、ひとえに皆様のお陰と感謝致しております。

本年からは旧可動堰の撤去など、平成25年度の事業完了まで残りの工事を実施してまいりますので、今後も皆様にはあたたかいご協力を頂きたく、よろしくお願い致します。

(建設監督官 佐藤 利行)



大河津可動堰情報館ホームページから、毎月1日には可動堰回覧板の最新号をご覧頂けます。また、バックナンバーも合わせてご覧頂けます。アドレスは「<http://www.hrr.mlit.go.jp/shinano/kadouzeki/>」です。

『可動堰なんでも電話』を開設し、みなさんからのご意見・ご質問などをお待ちしております。

0258-32-3134 (平日 AM9:00~PM4:00)

工事や河川に関することはなんでも大河津出張所へ Tel 0256-97-2121(建設監督官在所)

大河津出張所

:大河津分水全般に関する工事監督・維持管理等

建設監督官(可動堰改築担当):大河津可動堰改築事業に関する工事監督等

信濃川河川事務所

大河津可動堰情報館

信濃川大河津資料館

<http://www.hrr.mlit.go.jp/shinano/>

<http://www.hrr.mlit.go.jp/shinano/kadouzeki/>

<http://www.hrr.mlit.go.jp/shinano/ohkouzu/index.html>